

令和8年度 全国学力・学習状況調査の概要

江別市立江別第二小学校

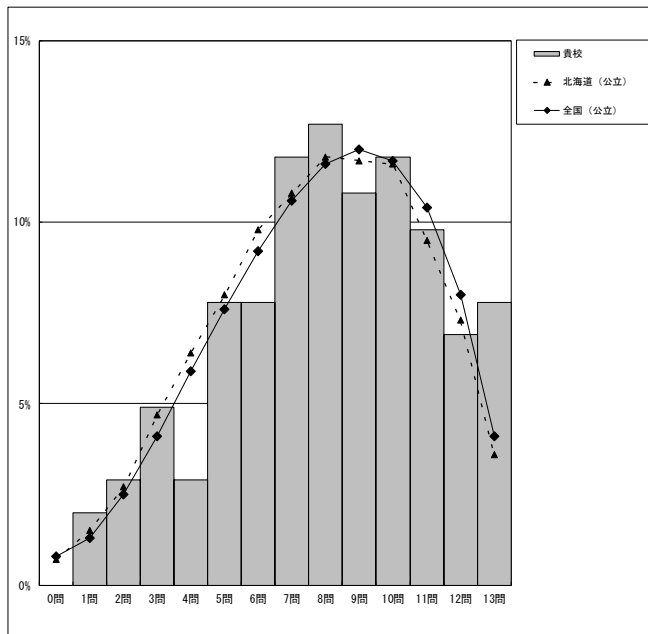
4月に6年生が実施しました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。個人票は、7月24日に6学年児童を通じて配付していますので、ご確認ください。

< 教科に関する調査結果 >

*全国平均と比較して、「上回る」「やや上回る」「同様である」「やや下回る」「下回る」で表記しています。

【国 語】 全国平均と比べてやや上回る結果でした。

□正答数分布グラフ（全14問）



□観点別正答率（全国比）

- ・ 知識・技能 ⇒同様である
- ・ 思考・判断・表現 ⇒やや上回る

□領域別正答率（全国比）

- ・ 言葉の特徴や使い方に関する事項 ⇒やや上回る
- ・ 情報の扱い方に関する事項 ⇒同様である
- ・ 我が国の言語文化に関する事項 ⇒設問なし

- ・ 話す・聞く ⇒やや下回る
- ・ 書くこと ⇒上回る
- ・ 読むこと ⇒やや上回る

【全国平均に比べ正答率が高かった問題例】

1. 文章を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く記述問題

前年度の課題であった記述式において大きな成果が見られ、正答率 81.4%(全国比+5.0%)と非常に高い数値でした。

2. 漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

「短い」「不思議」を正しく書いていました。2問ともに全国平均を上回っていました。

【全国平均に比べ正答率が低かった問題例と改善策】

1. メモの整理の仕方の説明を選択する問題

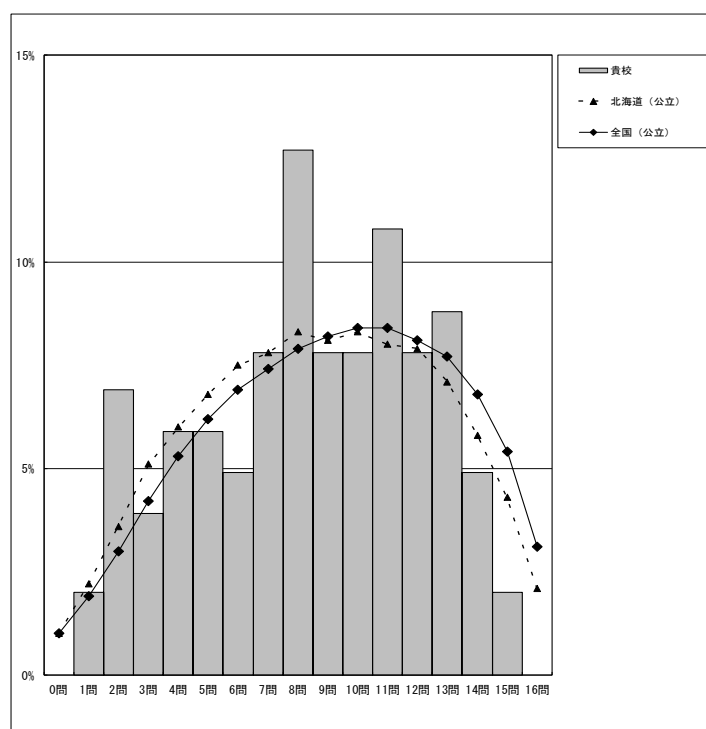
2. 動画の工夫の意図を選択する問題

目的に応じて情報を分類・整理したり、表現の意図を的確に捉えたりする力に課題が見られました。

⇒教科横断的に、自分たちが作成するメモや資料の構成意図を客観的に説明する活動を取り入れます。また、記述力の向上を土台とし、自分の経験を根拠に言葉を選ぶ体験を重ねることで、言葉を自分のものにする実感（自己有用感）を高める授業を推進します。

【算 数】 全国平均と比べて下回る結果でした。

□正答数分布グラフ（全 16 問）



□観点別正答率（全国比）

- ・知識・技能 ⇒ やや下回る
- ・思考・判断・表現 ⇒ やや下回る

□領域別正答率（全国比）

- ・A 数と計算 ⇒ 下回る
- ・B 図形 ⇒ 下回る
- ・C(1)測定 ⇒ 上回る
- ・C(2)変化と関係 ⇒ 下回る
- ・D データの活用 ⇒ やや下回る

【全国平均に比べ正答率が高かった問題例】

1. 計画表に基づき、条件に合う時間を求める問題

結びついた「測定」領域では 82.4%と、全国平均を大きく上回る成果が見られました。

2. 数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる

課題となる「数と計算」領域の中で、全国比+2.1 ポイント上回る成果が見られました。

【全国平均に比べ正答率が低かった問題例と改善策】

1. 単位立方体を用いた体積の理解

2. 整数と小数の減法計算

図形の構成要素を捉える基礎的な理解や、正確な計算技能に課題がありました。

3. 二次元の表からの必要な情報の読み取り

複雑な情報の処理能力が全国平均に届きませんでした。

⇒図形を単なるイメージではなく具体物の操作を通して論理的に捉える活動を強化します。
また、小数の計算などつまづきやすい領域の習熟を徹底し、強みである「測定」の成果を生かして、「わかる楽しさ」の実感を高める指導を行います。

【 児童質問 】

児童質問調査については、全国と比べて肯定的な回答が多かった（少なかった）質問をいくつか紹介します。

*肯定的な回答 = 当てはまる + どちらかと言えば当てはまる

【肯定的な回答が多かった主な質問】

1. ICT を活用した学習状況（スコア 5.3/全国基準 5.0）

- ・「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができると思いますか」（90.5%/全国 79.1%）
- ・「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができると思いますか」（89.5%/全国 84.9%）
- ・「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理することができると思いますか」（74.7%/全国 69.5%）
- ・「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思いますか」（80.0%/全国 74.6%）

2. 学習習慣（スコア 5.2/全国基準 5.0）以下、2つの質問で全て全国平均以上

- ・「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」
- ・「学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」

<見 解>

ICT を自分のペースで活用し学習を進める本校の強みが継続されています。目的をもって端末を使いこなし、家庭学習を含む学習習慣も定着しています。今後も ICT を用いた個別最適な学びを深化させ、自らの学びを調整する力を高めていきます

3. 総合・学級活動・道徳（スコア 5.2 / 全国基準 5.0）

- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」（83.2%/全国 79.9%）
- ・「総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか」（83.1%/全国 79.7%）
- ・「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」（84.2%/全国 81.5%）
- ・「学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」（78.9%/全国 77.3%）
- ・「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」（94.7%/全国 86.9%）

4. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（100% / R7:97.2%）

<見 解>

学級活動や道徳についても意欲的に取り組んでおり、特に「いじめはいかなる理由があってもいけない」という意識については、全児童が肯定する（100%）という極めて高い正義感が育まれています。これらの強みを土台として、児童が安心して前向きに生活できる学校環境を一層充実させてまいります。

【肯定的な回答が少なかった主な質問】

1. 将来の夢や目標を持っている（76.9% / 全国 88.8%）

2. 国語・算数に関する意識および学習活動（スコア 4.4～4.8）

- ・「国語、算数の勉強は得意ですか」（国：55.8%/全国 60.4% 算：50.6%/全国 60.1%）
- ・「国語、算数の勉強は好きですか」（国：49.5%/全国 57.45 算：47.4%/全国 57.6%）

<見 解>

学力面では成果が出ているものの、自尊感情や教科への「好き」「役に立つ」という意識が全国平均を下回る傾向にあります。振り返りの習慣化により達成感を高め、言葉を用いる体験や算数的活動を重視することで、「学ぶ楽しさ」と「わかる楽しさ」を実感できる授業づくりを全校で推進します。

本調査および全学年で実施している標準学力検査の結果を多角的に分析し、学力向上に向けた指導計画を改善します。全校を挙げて、きめ細かな学習指導に努めていきます。

また、これまで同様、児童一人ひとりの存在を丸ごと受け止める「受容と共感」を大切にします。小さな成長を見逃さず称賛することで、子どもたちが現在、そして未来に対して前向きな希望をもてるよう、心の通った教育活動を教職員全員で充実させていきます。